

公式記録

令和4年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

決勝【56】



(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日時	2022年2月5日(日) 13:00 キックオフ				会場	アスパ五色 メイングラウンド					
天候	晴れ	風	弱風	ピッチ	(天然芝)・人工芝・クレー		状態	良好	試合形式	70分 / 延長 20分 / PK戦 有	
運営責任者	笠原 弘樹		会場主任	田村 孝次		記録	芝切 淳 / 渡邊 悠		観衆	462人	
主審	金淵 佑亮		副審1	谷添 大地		副審2	瀬田 順矢		第4の審判員	亀田 詩真	

チーム名	三田学園高校				kick off	0	前半	1	後半	0	チーム名	神戸弘陵学園高校				
					選手番号	P	延前		延後		P	選手番号				
					PK戦	先					PK戦	先	OX			

交代		シュート				選手名(学年)		番号	位置	位置	番号	選手名(学年)		シュート				交代	
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半								前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.	
	分					神田 航汰	1年 1	GK	GK	1	石橋 亮斗	2年					分		
	61分					池間 蒼士	2年 2	DF	DF	2	豆成 僚	2年					分		
	分					近藤 翔	2年 4	DF	DF	18	柴尾 美那	2年					分		
	分					黒瀬 直弥	1年 5	DF	DF	4	岡 未来	2年					分		
	分					康 明世	1年 6	DF	DF	5	三輪 桜大	2年					分		
	分				1	村上 俊介	2年 8	MF	MF	8	大井 孝輔	2年		1			分		
	分					米田 陵汰	2年 11	MF	MF	24	木津 奏芽	1年	1	1			分		
	51分					谷川 裕基	2年 14	MF	MF	7	佐波 昂大	2年	1				70分	13	
	58分					井口 仁貴	2年 7	MF	MF	11	北藤 朔	2年	3*	1			69分		
	分					張間 仙太	2年 9	FW	MF	17	江崎 有佑	2年					47分		
	HT分					瀬尾 涼太	1年 18	FW	FW	9	馬場 悠平	2年					69分		
	分					富阪 匠	2年 98	GK	GK	12	今田 瑠夏	2年					分		
2	分					大平 朋輝	1年 13	DF	DF	20	藤本 達真	1年					分		
7	分			1		福井 奏太郎	1年 15	DF	DF	23	阪上 聖恩	1年					分	7	
	分					道幸 寛登	1年 21	DF	DF	26	松井 君弥	2年					分		
18	分					上野 權	1年 17	MF	MF	19	石橋 瀨風	1年					分	11	
	分					冢本 陽生	1年 25	MF	MF	22	井田 琉汐	1年					分		
	分					川合 晋平	1年 30	MF	MF	28	中邑 蕾羽	1年					分		
14	分					谷垣 徹平	1年 20	FW	FW	10	有園 依咲樹	2年		3			分	17	
	分					吉識 丈	1年 26	FW	FW	14	中村 貴志	2年					分	9	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					2			1	1	シュート	5	6			11	分				
分					12			8	4	GK	4	2			6	分				
分					2			2	0	CK	2	3			5	分				
分					5			1	4	直接FK	2	2			4	分				
分					2			2	0	間接FK	0	1			1	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去

[退場事由] 不正・乱暴・つば・阻手・阻他・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過]
	18分	神戸弘陵	11	北藤	0-1	左 11 ~ 中央 S
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	

戦評者 所属【 県伊丹・芦屋 】 氏名【 米本・上野 】

快晴の中、三田1-4-4-2、弘陵1-4-2-3-1でスタート。三田は9張間18瀬尾の2トップにボールを集め起点にし攻撃を組み立てるのに対し、神戸弘陵は9馬場7佐波のポジションチェンジなどからスペースを生み出し起点を作る。神戸弘陵は守備の距離間も良く、セカンドボールを回収しながら徐々に主導権を握る。神戸弘陵8大井24木津7佐波で中盤で効果的にポジショニングし三田の守備を突破する回数を増やしてくと、18分11北藤が左サイドのスペースをスピードにのったドリブルで駆け上がり、先制点をあげる。その後も神戸弘陵がボールを握る展開となり前半終了。後半に入ると三田は17上野を投入し反撃に出ると、9張間の競り合いのセカンドボールを回収し相手ゴールに迫ろうとする。対する神戸弘陵は左サイド5三輪11北藤のコンビネーションから鋭い攻撃を仕掛けチャンスを作り出すも三田DFの体を張った守備により、追加点を奪うことはできない。その後も三田は交代選手を入れチャンスを作ろうとするも、ゴールに迫れないまま試合終了。神戸弘陵が相手の動きを見ながら冷静に判断しプレーを選択することや多彩なセットプレーから主導権を握り続けることができた試合であった。

[備考]